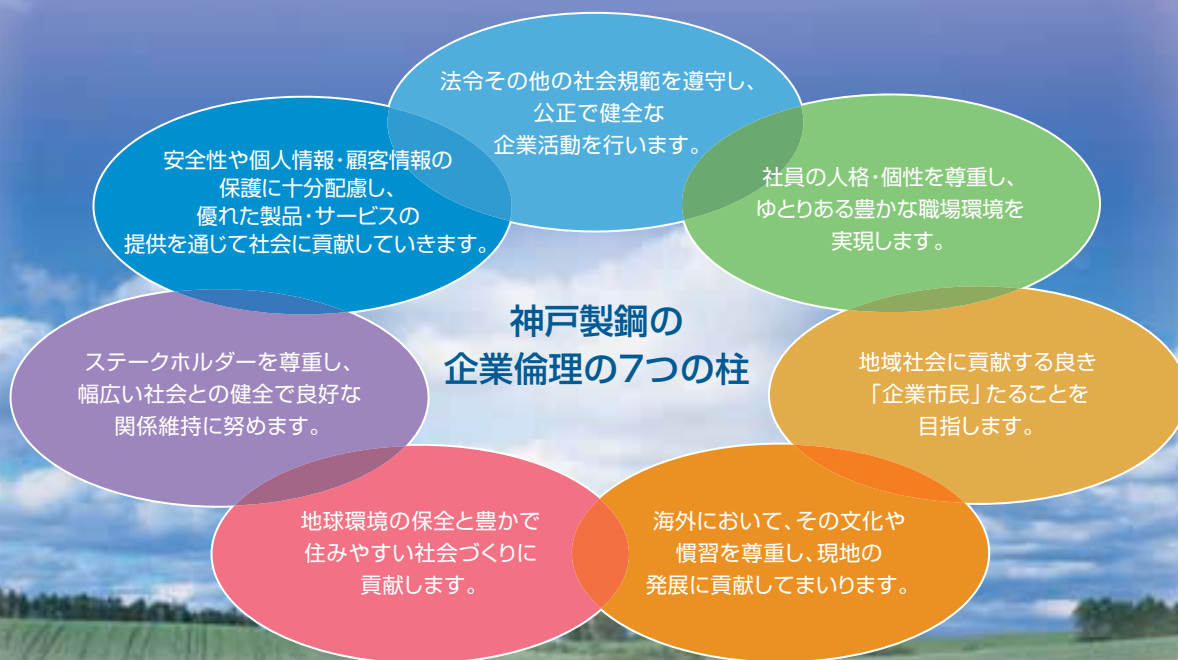


CSR・環境経営

急速なグローバル化、世界的な規模での経営の統合・再編、地球環境への関心の高まりなどにより、企業を取り巻く環境や意識は大きく変化しています。こうした中で、当社グループは、コンプライアンスの強化や環境保全活動をはじめ、ステークホルダーの皆様への対応につきまして、企業としての社会的責任を果たすべく、さまざまな活動を行っています。



コンプライアンス体制の充実への取組み

企業倫理綱領を制定するほか、取締役会の諮問機関として、社外委員5名、社内委員4名によって構成されるコンプライアンス委員会がコンプライアンス推進計画の立案や進捗状況の確認、「内部通報システム」への通報事案に関する審議などを行っています。また、社員へのコンプライアンス教育の実施などにも取り組んでいます。



コンプライアンス・トップセミナー

環境管理への取組み

本社と事業所が連携して環境管理の向上を図るため、本社環境管理部門による各事業所の環境管理状況の調査を実施しています。また、従来の書面監査に加え、社外コンサルタントの参画を得て、環境防災部と監査部が事業所の現地監査を行い、法令遵守状況等についての監査を実施しています。

環境に配慮したものづくりへの取組み

地球温暖化対策 業界ごとの自主行動計画達成に向けて、省エネルギー対策の推進等に取り組んでいます。鉄鋼部門の2006年度のCO₂排出量は1990年度に比べて3.3%削減しました。

循環型社会構築 2008年度に埋め立て処分量の比率を2004年度比で20%削減することを目標に、廃棄物の削減に取り組んでいます。2006年度の神戸製鋼グループの最終処分量は約22万トン、リサイクル率は95.2%でした。

有害物質削減 PRTR届出対象物質の移動量の削減に向けて、グループ全体で集計、情報共有を実施するなど、有害化学物質の適正管理体制の確立に向けて取り組んでいます。アスベスト設備については、台帳管理と表示を実施し、国の指針に基づき適正処理する取り組みを開始しています。

環境負荷の低減 各種汚染防止施設の機能強化等により生産活動における環境負荷低減に取り組んでいます。加古川製鉄所では、発じん箇所の密閉強化、防じんネットの設置、道路散水の強化等を実施しています。

環境情報の公開への取組み

加古川製鉄所では、加古川市役所、播磨町役場、浜の宮、別府の地元町内会の公民館にモニターを設置し、製鉄所全体のばい煙排出量(SO_x,NO_xの時間排出量)等の環境情報をリアルタイムで公開しています。神戸製鉄所においても、灘浜サイエンススクエアと灘浜ガーデンパークの既に設置されているモニターに、同様の環境データを掲載しています。

また、加古川製鉄所、神戸製鉄所の環境実績データ(所全体のばい煙時間排出量、ばい煙発生施設のばい煙排出濃度等の月間平均値、月間最大値等)をホームページに月単位で掲載しています。



加古川製鉄所北側の防じんネット



製鉄所における環境関連情報のページ

製品・技術・サービスにおける環境への取組み

これまで蓄積した生産技術、エンジニアリング技術とシステム、ノウハウを複合し、環境配慮型素材・製品を提供してきました。また、エネルギーの効率的利用、廃棄物のリサイクル、未利用資源の活用、環境修復などの分野においても、各種機器・プラント・サービスの提供をしております。

2006年度の主な環境配慮型 製品・技術・サービス

- 業界最高のエネルギー効率を誇る空冷ヒートポンプチラー「ハイエフヒーボン」を開発・発売
 - 日本初の溶剤分離法による塩ビ再原料化工場の稼働
 - 排ガス規制適合型の建設機械の発売
- ※当社グループの環境配慮型製品・技術・サービスについては、ホームページの環境ビジネスガイドにも掲載しています。 <http://www.kobelco.co.jp/ecobiz/index.html>



ハイエフヒーボン

コベルコ地域社会貢献基金制度について

神戸製鋼では、創立100周年記念事業の一環として、2006年6月に「コベルコ地域社会貢献基金制度」を設立しました。

次代を担う「子供たち」を対象に、「社会福祉」を中心とした分野において、神戸製鋼の事業所・研究所が立地する神戸市、加古川市、高砂市、茨木市、東広島市、藤沢市、下関市、いなべ市、真岡市の9市において、2006年度は支援をいたしました。

具体的には、①児童養護施設、障害者福祉施設、②子育て支援施設・保育所・児童館、③子供自らが地域貢献活動を行う団体、④ドメスティックバイオレンスの被害者を支援する団体、⑤子供向け芸術・文化教育活動をする団体への支援を実施いたしました。